

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は7日、今年刊行する応用測量論文集第34巻に掲載する14論文のうち、特に優秀な論文として4論文を「応用測量論文奨励賞」に選定したと発表した。日測協は地理空間情報の整備で測量の重要性を踏まえ、「応用測量論文集」を毎年刊行している。

応用測量論文奨励賞に選ばれた4論文と著者は次の通り。

▽狭隘（きょうあい）環境における遠隔操作支援技術の検討
横山大氏（日立プラントコン

応用測量論文 奨励賞に4件

日測協

ストラクシヨン）

▽低コストGNSS（全球測位衛星システム）アンテナの性能評価に関する研究
尾関友啓氏（東京海洋大学大学院）ほか1人

▽山間部SLAM計測点群への地理座標付与を目的とした航空レーザ点群との自動レジストレーション
ジャオ・ジン氏（アジア航測）ほか4人

▽高精度3D都市モデル整備のためのデータ作成手法検討報告
宮村尚幸氏（国際航業）ほか3人。